

# 令和元年度 第2回 桑原学園 学校運営協議会記録

令和元年 6月13日(木) 14:00~16:00

羽島市立桑原学園 校長室

## 1 ○ 会長挨拶 (会長 新井 勝)

前回同様、働き方改革や学園歌など様々な議題があるが、忌憚ない意見を出してほしい。見守りボランティアについては、個別に登録できないのが現状。今日は、この2点を中心に話し合いたい。

## ○ 校長挨拶 (校長 小川和彦)

見守りボランティアにおいては、多く方に関心をもっていただけた。安易に考えていたので、登録の仕方等も含めて考えたい。サツマイモの苗植えのお手伝いをはじめ多くの活動に関わっていただけていることに感謝している。

出席者：14名参加

新井勝、大橋専利、佐藤彰洋、渡邊登史子、炭竈 豊、速水博、山内仁子、吉田信樹、宇佐美賢治、浅野喜代子、番美智雄  
小川和彦、安藤理加、丸山靖生

## 2 議 題

### (1) 報 告

学校行事の報告：仲良し遠足、修学旅行、美浜合宿、授業参観等

### (2) 学園歌の歌詞について

#### 【校長より】

比喩、特色を生かしていきたい。1, 2行目 地域の情景, 3, 4行目子どもたちの育ち, 5, 6行目これからの願い方向性を表現している。また、学校教育目標「自立・共生・鍛錬」に照らして、またこの地に関わる情景を入れた。

#### (意見)

- ・前回、桑にこだわるのはいかがという意見があったが、桑原は八神村の呼名であり、古くから桑の木が植えられていた。この地に関わる言葉は、「木曾、長良」があるが、羽島市のどこの小中学校の校歌に入っている。校章にも桑が入っているので桑が入ってもよい。「高くそびえる伊吹の峰」の歌詞は高い志を表しているようだ。・一文字ずつよく考えられている。・第1次案よりも、よい。桑の木と葉と実をうまく使っている。「絶えず、あきらめず」の歌詞で「ず」が続くと少しくどい感じがする。「木曾長良川」は「木曾長良」の方が歌いやすい。・川魚をよく食べた思い出があるので川の情景も入るとよい。・川と水田の風景が印象深い。伊吹山、夕日が沈む情景が感動的である。それが入っているのがよい。・輪中を印象づけた言葉「耐え抜いた」は否定的なイメージがある。「絶えず、あきらめず」とは、何に耐え、あきらめず、なのか。伊吹山は遠い、身近な水田や豊かに実る稲などの言葉を入れるとよい。
- ・子供たちにも投票させてもよい。・PVは作れるのか。・新聞の号外版にも掲載していきたい。

### (3) 見守りボランティアについて

#### 【校長より】

現在登録者11名。合計16名でのスタート。登録できない方への対応を考えたい。ベストと帽子の支給を検討している。

#### (意見)

- ・登録しないとできないのか、ベストと帽子を着用しないといけないか。腕章でもよいのでは。不審者との区別の意味で車にシールを貼る方法もあると教えていただいた方もある。・常にベストと帽子を携帯するのは難しい。・PTAを含めみんなで見守れる体制をどうつくるか。・不審者に会って怖い目に遭った方から直接話を聞き切実さを感じた。一人になった時が心配である。・ボランティアは義務とは違う。地域の中で生きていくうえで必要なことである。自警団かボランティアか。・自腹で購入してもらってもよいのでは。その方が、意識が高まる。・PTAの当番制も考えていくことも。地域によって意識が違う。・今年度は腕章を交通安全の方で作成したらどうか。

### (4) 令和元年運動会について

#### 【校長より】

熱中症の心配もあり、予定よりも種目を減らしたり、早めに始めたりする可能性もある。今後は開催時期や開催時間等の検討も必要。行事をやめることは簡単だが、行事を行うことのメリットを大切にしたい。

## 3 意見交流

- ・声をかけて挨拶ができる子が増えてきた。保護者の方の見守りもありがたい。地域みんなで子どもたちを守れるようにしたい。・夏祭りに向けてお世話になります。・グラウンドの草引きを考えている。・地域で、視覚的効果をあげると抑止力になる。桑原は動きが速く期待できる。・防犯意識の向上に向けて考えていきたい。「子ども110番の家」の利用も考えたい。・学童への安全対策も同様に考えていきたい。

## 4 終わりの挨拶 (校長 小川和彦)

地域の皆さんと一緒に考えながらできることは、桑原の地ならではの。地域の方のよさを子どもたちに伝えることはできないものか。地域の方のこのような活動を子供たちにぜひとも伝えていきたい。

